

# 新技術開発へ人材育成

非鉄金属大手のJX金属（東京）は日立市内に半導体やIT機器などに使われる先端非鉄金属素材を製造する2工場新設を含んだ約480億円の設備投資計画を打ち出した。2020年7月に策定した22年度までの3カ年中期計画では3年間で3000億円を盛り込んだが、村山誠一社長はデジタル化の急速な進展に伴う今回の投資計画について「2年前倒した感じだ」と戦略的な投資判断だと明らかにした。さらに主力の銅精錬についても「40年にはリサイクル比率を50%に高めたい」と強調した。今後の同社の事業戦略について村山社長に聞いた。

次期中期計画について 戦略投資など約480億円の設備投資計画を打ち出した。2020年7月に策定した22年度までの3カ年中期計画では3年間で3000億円を盛り込んだが、村山誠一社長はデジタル化の急速な進展に伴う今回の投資計画について「2年前倒した感じだ」と戦略的な投資判断だと明らかにした。さらに主力の銅精錬についても「40年にはリサイクル比率を50%に高めたい」と強調した。今後の同社の事業戦略について村山社長に聞いた。

「新型コロナウイルス感」

「新型コロナウイルス感」画よりも能力増強を前倒

## JX金属 村山誠一社長



## リサイクル原料 比率50%に高める

「世界シェアの多くを握る半導体向けスパッタリングターゲットの増産計画を打ち出したが、半導体需要が急速に拡大している中、将来的な見通しは、

「世の中が今後、デジタル社会に向かって急速に進

むことで、半導体需要の拡大により（半導体製造工程で使う薄膜成形材であるスパッタリングターゲットの）マーケットは伸びていくだろう」

「日本には地下資源が乏しく海外に依存しており、循環型社会への貢献や経済安全保障の意味からも事業を増強していきたい。ハイブリッド精錬として鉱石メ

「日本には地下資源が乏しく海外に依存しており、循環型社会への貢献や経済安全保障の意味からも事業を増強していきたい。ハイブリッド精錬として鉱石メ



JX金属 銅を中心とする非鉄金属製品の製造販売を手掛ける。久原房之助氏が1905年に銅山を買収して日立鉱山を創業したのが源流。久原鉱業や日本鉱業を経て92年に日鉱金属が発足している。2010年に新日鉱ホールディングスと新日本石油が統合し誕生したJXホールディングスの中核事業会社としてJX日鉱日石金属を設立。16年に現社名に変更した。国内拠点としては県内に日立事業所（日立市）や磯原工場（北茨城市）などを展開。大分県に佐賀関精錬所がある。21年12月に日立北部工業団地（日立市砂沢町）内に半導体用スパッタリングターゲットを生産する「日立北新工場」（仮称）と日立事業所敷地内にスマートフォンなどのモバイル機器や車載用途向けに使われる庄延銅箔（どうほく）の仕上げ工程を担う「日立北新工場」（仮称）を3000億円の投資で建設す

「日本には地下資源が乏しく海外に依存しており、循環型社会への貢献や経済安全保障の意味からも事業を増強していきたい。ハイブリッド精錬として鉱石メ

術開発していく」

「（電子基板など）リサイクル材料の」資源調達リスクはある。中国が覇権的に今以上に囲い込みをする可能性など調達リスクの課題を抱えている。海外勢との競争激化する中、収集ルートに積極的確保していく。そのためにも材料の分析能力を高めてユーザーの信頼を勝ち取る努力が必要だ。台湾や欧州にも拠点があり、この地域のマーケットで手広く収集できる取り組みを強化する」

「将来性が高いとみられる車載用リチウムイオン電池から電池材料を取り出す実証プラントを日立事業所に稼働させているが、今後の見通しは。」

「われわれの技術力を結実させて20年代後半の事業化を目指す。循環型の社会構築に貢献していく。（独自の溶媒抽出技術を活用し硫酸コバルトや硫酸ニッケルなどを取り出す）実証プラントは順調にいったおり、量産のイメージをつくらせていきたい」

を開発。家具などに使うボードとして供給する体制を整えた。22年度は国内の家具メーカーなどに提供し、顧客の反応を見極める事業検証を実施。23年度中の本格的な事業化を目指す。建材などにも用途を広げ、海外市場にも売り込む考えだ。

同社の事業担当者は「環境訴求型の新しい木質ボードを世界中で利用してもらうことで、地球温暖化防止に役立ちたい」と語った。

## 故人の年金手続き

### ライフセミナー

亡くなった人の年金について、どのような手続きが必要ですか。

**A** 故人の年金の手続きには主に3種類あり、いずれも最寄りの年金事務所・年金相談センターが窓口です。

まず、国の年金を受け取っていた場合に年金の受給を停止する手続きがあります。亡くなって10日以内に「受給権者死亡届」を提出します。

次に、未支給年金の受給手続きです。国の年金は亡くなった月の分まで受け取れます。ただ、年金

なので、死亡月分が未支給となる場合があります。故人と生計を同じくしていた配偶者や子などが

「未支給年金・未支払給付金請求書」を提出すると未支給年金が受け取れます。

3点目が遺族年金の手続きです。老齢厚生年金を受け取っていた夫が亡くなった時、多くの場合、残された妻は遺族厚生年金が受け取れます。「年金請求書（国民年金・厚生年金保険遺族給付）」を提出します。

ここに挙げた書類は年金事務所などに備え付けてあるほか、日本年金機構のサイトからダウンロードできます。故人の年金証書、戸籍抄本、住民票なども必要です。

漏れないよう「ねんきんダイヤル（0570）0511165」に電話するか、年金機構のサイトで必要書類を確認しましょう。（フ

# 提出書類の確認が必要



JX金属 銅を中心とする非鉄金属製品

の製造販売を手掛ける。久原房之助氏が1

905年に銅山を買収して日立鉱山を創業

したのが源流。久原鉱業や日本鉱業を経て92年に日

鉱金属が発足している。2010年に新日鉱ホール

ディングスと新日本石油が統合し誕生したJXホー

ルディングスの中核事業会社としてJX日鉱日石金

属を設立。16年に現社名に変更した。国内拠点とし

ては県内に日立事業所（日立市）や磯原工場（北茨

城市）などを展開。大分県に佐賀関精錬所がある。

21年12月に日立北部工業団地（日立市砂沢町）内に

半導体用スパッタリングターゲットを生産する「日

立北新工場」（仮称）と日立事業所敷地内にスマー

トフォンなどのモバイル機器や車載用途向けに使わ

れる圧延銅箔（どうはく）の仕上げ工程を担う「日

立新工場」（仮称）を約300億円をかけて建設す

る計画を発表している。